

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
第3回契約監視委員会 議事概要

1. 日 時：平成22年2月16日（火） 16:00～18:00
2. 場 所：製品評価技術基盤機構 本館2階技術研修室
3. 出席者：
  - 委員長 藤本 瞭一 （早稲田大学理工学術院総合研究所研究戦略室 教授）
  - 委 員 大谷 惣一 （シュエット法律事務所 弁護士）
  - 委 員 西村 勝秀 （西村勝秀公認会計士事務所 公認会計士）
  - 委 員 地崎 修 （独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事）
  - 委 員 前川 美之 （独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事）
4. 議題
  - (1) 委員会報告書について
  - (2) その他
5. 議事概要
  - 議題 (1) 委員会報告書について
    - 委員から契約の客観性、透明性の向上にむけての今後の取り組みについて提案が行われた。
    - 概要
      - (共通する取り組み)
      - 年度当初に調達計画をホームページで公開する等調達予定情報提供の充実。
      - 契約価格の妥当性確保のため市場価格等の多様な情報に基づく予定価格の積算。
      - 第4四半期の発注を避ける等による無理のない納期設定。など  
(随意契約)
      - 「再リース」、「光熱水料、土地建物賃借料などの長期継続契約」以外の競争性のない随意契約の原則禁止。
      - 土地建物賃借料における不動産価格変動に配慮した適切な交渉、契約締結に至る交渉経過の記録保存など。
    - (1者応札・応募案件)
    - 入札説明会の実施や入札関連情報提供の充実。

- 余裕を持った公告期間の確保。
- 過去の実績・経験を要件とするものの原則禁止。
- 入札参加者が少ない場合の競争参加資格ランクの拡大による入札参加要件の緩和。
- 事業者への聞き取り調査といった事後点検体制の整備など。

(個別案件)

機構の自己点検を含め15件の案件に対して問題点が委員から指摘され、これに対する機構の改善策については適切である。

以上の委員会からの提案が取りまとめられ理事長、理事に提出された。

#### 議題(2) その他

次回の開催は3月2日(火)とした。

以上